



東海アカシア会・豊葦会 かわら版

2020年 夏版

【目次】

p1. ご挨拶

p2～ 新役員からひとこと
榎本新アカシア会長より

p4. 沖名誉会長より

p5～ トピックス

- ① 72回同期会開催！
（母校訪問）
- ② 東海アカシア自転車同好会発足！
- ③ 株式会社ツクリエ名古屋オフィス
開設にあたり
- ④ 新しい楽器「インスタコード」の
その後

編集後記

～近況報告投稿のお願い～

【ご挨拶】

コロナ禍が落ち着かない中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

新体制になって初のビール会開催に向け、準備を進めてきましたが、首都圏のみならず東海地方の感染者も増加する中、大人数での開催は難しいと判断し、今年はやむなく中止とさせていただくこととしました。

楽しみにされていた方もいらっしゃると思います（私もその一人です）。何卒ご理解いただきますようお願いします。

単に中止だけで終わりにしたくない、という思いに加え、メンバー各位のご活躍を伺い、是非皆様と共有したいと考え、近況をお伝えするかわら版を作ることとしました。

何しろ短期間に、素人が作成したものですので、充実度には全く自信がありませんが、この配信を通じて、皆様に少しでも元気が届けば幸いです。

このような状況だからこそ、皆様とのつながりを大切にして、支えあいながら前に進んでいきたいと思っております。来年の総会には、皆様と笑顔でお会いできることを切に願っております。

東海アカシア会 会長 荒田 治彦（72回）



【新役員からひとこと】

週末は岐阜、平日は東京という単身赴任生活を続けて長くなりますが、コロナ禍のもと、6月から岐阜で在宅勤務をしています。こんなに岐阜に長くいるのは、17年ぶり（産休）の経験です。私の勤める Willis Towers Watson では、3月より原則在宅勤務となり、既に半年。こんなに継続するとは想定外でしたが、当初は、懐疑的だった社員の多くが在宅勤務に慣れたようです。空間を共有しなくても情報は共有できるし、仕事は進められます。家族との時間が増え、通勤のストレスから解放され、効率性が高まったというものもあります。

しかし、リモートの会話では、仕事に直接関係しない（無駄な？）話をする時間が削られ、仲間としてのコミュニケーション、特に、世代間のコミュニケーションが難しくなっていると感じます。しかし、これも挑戦として、前向きに、新しいチーム作りを模索しています。

そして、こんな時代だからこそ、アカシア会・豊葦会の先輩方、仲間たちとのつながりをとても大切に感じます。リアルにお会いできるのは来年になりそうですが、新しい生活スタイルの中で、皆さまとのつながりを模索する荒田会長と共に、東海アカシア会・豊葦会を支えていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

東海アカシア会副会長 兼 豊葦会会長
田中 千晶（アカシア 72回、豊葦 71回）

みなさん、こんにちは。

東海アカシア会監査役に就任しました佐藤典子（旧姓山崎）です。

私は、1995年にアカシア会同期の佐藤哲郎と結婚して、夫の仕事の都合で、愛知県豊川市（豊川稲荷の近くです）に越してきました。東海地方は、私にとって、縁もゆかりも全くなく、夫以外、誰一人知った人もいないところだったので、とても心細く思っていました。そんなときに、当時、東海アカシア会の会長をしておられた曾田和之さん（32回）に声をかけて頂きました。そして、総会に参加して、東海アカシア会の皆様と知り合いになれてとても心強く思ったことをよく覚えています。それから25年も経ちました。

東海アカシア会の主な活動は、年に1回の総会と夏のビール会です。顔見知りがいなくなかなか参加しづらい集まりかもしれませんが、私は、無職だった時も子連れだった時も、いつでも温かく迎えてもらえ、楽しいひとときを過ごしました。皆様もお気軽にご参加頂ければと思います。

今までの恩返しもこめて、東海アカシア会のために微力を尽くしたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

監査役 佐藤 典子（78回）



新体制のもと、引き続き事務局長を務めさせていただきます。

いつもの年だと毎月のようにイベントのために出かけていたのですが、最近は帰省もせず、職場と自宅を往復するだけの毎日です。しかし、今の時代は SNS や動画配信といった便利なものがたくさんあり、家にいながらにして毎日楽しめるようになりました。おかげで、むしろ趣味にはお金がかからなくなってしまっています。

とはいえ、リアルに人が集まるということはまた格別で、それ自体が難しくなってしまったのは、なかなか厳しいものがあります。それでも今できる方法を考え、東海アカシア会のために尽力してまいりますので、どうかよろしく願いいたします。

事務局長 梶 幸一朗 (81回)

コロナの影響で、GWに続き、この夏も帰省ができず、広島に戻って食べるお好み焼きや、実家の庭での恒例の BBQ もお預け。

家の中には、オンラインゲームでゲラゲラと友達と仲良く遊ぶ子ども。どこかへ出かけないと勿体ないような夏の晴天。

GWは家で映画三昧の日々で、なんとか乗り過ごしましたが、とにかく外へ出たくなり、今回は、炎天下の自転車と、夜釣りに出かけました。

少しでも涼しいサイクリングのため、森林の深いコースを選びましたが、真上から照り付ける太陽で、日陰はなく、山道のアップダウンに苦しむコース。目的地にたどり着く前、道の駅の五平餅がゴールになりました。

魚の食欲も落ちるような暑さで、回りの釣り人、誰一人成果が上がらない中、流星群にも出会えず、海からの夜風でなんとか夏を味わいました。

夏の恒例行事「東海アカシア会、夏のビール会」が開催できず、私の中では、物足りない夏となりますが、来年の総会では、皆様の近況を直接お伺いできる場を実現すべく、東海アカシア会のために頑張ります。よろしく願いします。

事務局次長 國司 和浩 (82回)

【榎本新アカシア会長より】

東海アカシア会の皆様、こんにちは。

この7月17日付けをもって、向井前会長から伝統ある全国アカシア会会長を引き継ぎ、身の引き締まる思いでございます。今後はアカシア会の応援団長として、皆さんの絆の強化に一役買ってあげたいと思っています。

東海アカシア会には2回ほど参加させて頂いておりますが、非常にアットホームな雰囲気、皆さん近況報告もさることながら、実に素晴らしい同窓会をされているなど感じた次第です。

今年は残念ながらビール会も中止となり、全国各地のアカシア会もコロナの影響で中止が続出していますが、今は我慢。このようなかわら版で皆さんの連帯が、これまで以上に強くなりますことを願っております。

皆さんにまたお目にかかれる日を楽しみにしています。

アカシア会 会長 榎本 良二

【沖名誉会長より】

暑中お見舞い申し上げます。前会長の沖 信一（アカシア 55 回、豊葦 54 回）です。

世の中大変な状況になっていますが、皆様がお変わりなくお元気なことを祈っております。

今年 2 月 9 日の東海アカシア会・豊葦会総会で、やっと会長を荒田治彦副会長（72 回）に交代でき、ほっとしています。

というのもずいぶん前に、会長は原則 70 歳で交代すると規定した張本人が 73 歳になってまだやっているのは、原則とは言えやはりまずいので急がねば、と焦っていたからです。

荒田さんという魅力ある素晴らしい人に引継ぎ、また田中千晶副会長（72 回、豊 71 回）ほか 72 回の皆さんが彼を力強くサポートしてくれるということだし、更に梶幸一朗事務局長（81 回）が継続して國司和浩次長（82 回）と共に固めてくれるので、心より安心できます。

東海アカシア会（愛知、岐阜、三重、静岡、長野）は他地区と少し違い、附小の同窓会である東海豊葦会と一体で運用しています。東海地区の女性陣を中心とした豊葦会に、附中・附高の卒業生が 1961 年（昭和 36 年）から合流して 1964 年（昭和 39 年）に東海アカシア会・豊葦会が発足し、今日に至っています。

私は初代会長から言われて 1979 年から事務局、1997 年から事務局長、その後歴代会長を補佐し、2011 年から会長になって、2020 年に交代という

ことで、計 40 年間幹事をやりましたが、それは当初若い人の参加が無かったり異動があったからであり、今はたくさん参加してくれるようになったので、これからは皆さんが普通に幹事を決めて頂ければいいと思います。

一緒に面倒みて頂いた同期の坂本利彦監査役（55 回）も佐藤典子さん（78 回）に交代したので、役員全員 72 回以降と大幅に若返ることになり、大いに若い皆さんの感性で新しい形の同窓会にして頂ければと見守っていく所存です。

東海地区は大手の製造業を中心にした企業が多い地域であるが、東京・大阪・広島の通過点として在住している人も多く、サラリーマン・公務員の転勤、大学生の就職などで流動性が高い傾向があります。一方で 高齢化が進み、会に出たくても出られない方が増えてきているので、どう対応するかなど悩みがあり、最近では自宅から FaceTime で参加されるという新たな試みも始めていました。

1961 年に合流してから 50 年経過した 2012 年に、中村博之さん（43 回）の多大なご努力と諸先輩達のご支援で、これまでの写真や資料を集めて写真集「東海アカシア会・豊葦会 50 年のあゆみ」を完成させ、冊子・CD を総会参加の皆さんに配布しましたが、その後新たな会員が増えてきたので、続編を創れるといいですねと中村さんと話しています。

それでは皆様、またお会いできるのを楽しみにしています。

【72 回同期会開催！（母校訪問）】

2月23日（日）に、前回の同期会から7年ぶりとなる72回の同期会が母校で開催されました（アカシア会報にも一部記載がありました）。

緊急事態宣言の出る前ではありましたが、移動自粛の流れが出始めた時期で、直前まで開催できるかどうか危ぶまれたものの、まだ広島県での感染者がゼロということもあり、無事開催となりました。

広島在住のメンバーで幹事団が構成され、22日の市内居酒屋での前夜祭から24日の江田島・呉のオプションツアーまで各々都合のつく行事に参加という計画を立案、特別ゲストとしてⅢー5の担任であった堀泰樹先生をお招きし、全国各地から約70名が集まりました。東海アカシア会メンバーからは4名が出席しました。

当初校内見学や同級生の講堂でのピアノ演奏の計画もありましたが、当日たまたま英検の試験会場となってしまう、一般の方々も多く来校されていたために、残念ながら見送りとなってしまいました。

メイン行事は食堂を使ったケータリングでのランチ&それぞれの近況報告、高校を卒業したのが昭和57年（1982年）、卒業後早や38年も経っており、それ以来会っていなかった人も多く、「この人誰だったっけ？」という人もちらほらおりましたが、大半が高校時代とあまり変わっていないなあと感じました（というか、一気に当時にタイムスリップして戻ったような感覚になったのでしょうか）。食堂も外観はそんなに変わっていませんでしたが、内装はちょっとお洒落になっていました。



食堂での集合写真

そのあと、校内の自由散策（講堂と高校HRは除く）と、バスケットコートでのドローンによる人文字撮影が行われました。私は青春の6年間で体育館に立ち寄りしましたが、日曜日に

も関わらず、高校男子バレー班が練習をしておりましたので、現役メンバーをつかまえて「40年前のキャプテンだよ～」と先輩風をふかせてきました（あーそうですかってな感じでしたが）。また中学校のHRにも行きました。ほとんど当時のままではありましたが、トイレは綺麗になっていました。



正門から講堂を望む

当日夜の部は約30名参加による江田島 Uminos Spa&Resort での海辺のバーベキューと語り。夜遅くまで楽しいときをすごしました。荒田会長は、半田から自転車を持ち込み、広島→江田島→呉とひとりでサイクリングしていました。さすが若いですね～。

なお、公式ではありませんが、72回の次のイベントは今年の11月の三連休、コロナが落ち着いていれば、「しまなみ海道サイクリング」が計画されています。荒田会長はマイ自転車を持ち込み幹事団として参加を予定しています。

奥村 真一（72回）



江田島の夕暮れをバックに

【東海アカシア自転車同好会発足】



絶好の好天に恵まれました！

2020年2月のアカシア総会にて、荒田会長から、東海アカシア自転車同好会発起のご提案あり。コロナ禍で開催日を2度延期しましたが、無事、第1回目の会合を開催しました。藤井さん(57回)は、急なご都合により、残念ながら参加できず。國司(82回)は、息子と参加させていただきました。

【コース】

①南知多町運動公園 →②知多半島時計回り →
③昼食(知多の海産を堪能) →④盛田味の館でコーヒープレイク → ⑤公園へ(約50km)

当日は、日焼けを心配しなければならないほどの好天に恵まれ、5月の心地よい気候のおかげもあり、終始、適度なペースのおかげで、海を眺め、ゆっくりと昼食を味わい、コーヒーを飲みながら近況をお話する、ゆったりとした時間を取れ、のんびりとしたサイクリングになりました。

① 南知多町運動公園

車に自転車を2台積載し、久しぶりの自転車に心躍り、予定よりも早く公園へ到着。集合時刻になんと荒田会長は、自宅から直接自転車で到着。しかも、大学時代から乗り続けている自転車での登場。プレミアムな自転車がかっこいい。

② 知多半島を時計回り

風も穏やかで、時折見える海を見ながら、のんびりと進みます。車も少なく、道路も平坦で走りやすく、予定よりも早い時間で進みます。すれ違う自転車は、本格的な方ばかり。

③昼食

知多半島の海産を堪能。息子は、シラスの大きさと新鮮感に満足。美味しかったです。

④盛田味の館でコーヒープレイク

食後のコーヒータイム(休んでばかりです)。海を眺める観光も楽しみながら、職場のコロナ影響、家族の近況や、アカシア会の状況などをお話。海がきれいでした。

⑤公園へ

公園へ戻る最後の道は、余った体力もあり、アップダウンのコースを選択。一人置いて行かれましたが、交差点で待っていただき、3人無事にゴールしました。

荒田会長は、更に自宅まで自転車でお帰りに。健脚が素晴らしい。

次回、秋に2回目を開催予定です。

ご参加お待ちしております。

自転車同好会 國司 和浩(82回)



激走?する國司さん

【株式会社ツクリエ名古屋オフィス開設にあたり】

本年5月に、株式会社ツクリエの名古屋オフィスを開設し、責任者に就任し、6月下旬より本格的に業務を開始しました。私は、2018年10月に長年の会社員・会社役員生活を止めて、個人事業主になりました。大学時代にゲーム開発会社を起業し、34年間ゲーム業界にお世話になった身としては、恩返しがしたくて、2つの会社と契約してダブルワークをする選択をしました。

1つは、ゲームの開発とローカライズを中心のビジネスとするアイルランドの首都ダブリンに本社がある株式会社キーワーズ・インターナショナル、もう1つは起業支援や経営支援をする株式会社ツクリエでした。

前者を選んだ理由は、34年間の間に、国内で開発・販売してヒットしたゲームでも海外マーケットでの成功事例が無かったからです。20代で日本国内ではファミコンで400万本販売した「ドラゴンクエスト」も、北米で「DRAGON WARRIOR」と言うタイトルで販売しましたが、国内の様に売れず、30代には、シアトルに現地法人の設立準備をして、家族連れで住居の下見までしたのに、現地で厳しい評価をされ法人設立を諦め、韓国でオンラインゲームが流行しているの、韓国の会社と合併会社を設立し、日本語にローカライズしたのにサービス前に断念した、と散々でした。生活必需品と違い、国境を跨ぐと全く通用しないという事を身に染みて感じたので、後輩ゲームクリエイターに同じ思いをして欲しくありませんでした。

後者を選んだ理由は、大学時代に起業をしたのは1980年代の半ばでしたが、当時は、学生が起業をすることが皆無で、全く理解をしていただけませんでした。資本金だけはゲーム開発で得られたお金で500万円を用意出来ましたが、取引銀行の口座を持つ時、高々8万円のマンションをオフィスとして借りる時、コピー機をリースする時に、まるでママゴトをしているのかと言う冷ややかな目で見られ、とても嫌な思いをしました。現在は、スタートアップに対し理解も深まりましたが、反面、競争も激しく、起業家の後輩達に何かしら役に立てないかと考えました。中小企業診断士や社会労務士等が多い会社ですが、実際に数社の起業や経営をした経験が無い人ばかりだったので私ならではのアドバイスが出来ると思ったからです。

さて、愛知県と縁を持たきっかけはアカシア会にあります。2018年11月に開催された東京アカシア会の秋季懇親会の場で、愛知県庁に出向経験のある同級生の



富吉賢一君と名刺交換をした際に、株式会社ツクリエの名刺をみて「この手の会社は名古屋に拠点がないんだよね」（当時、東京、京都、大阪にはオフィスがあり名刺にも記載していました）との言葉を聞き、名刺に名古屋オフィスを入れたいと思いました。年末には富吉君の紹介で、愛知県の担当部署に出向き、挨拶と株式会社ツクリエの業務説明をし、翌春の公募の準備に取り掛かりました。2019年3月起業支援に関する2つの案件に入札をし、そのうち1つの「あいちスタートアップキャンプ2019」が採択されました。このキャンプは起業間もない方やこれから起業を目指す方を対象にした、新規ビジネス創出のための、週末を利用したワークショップです。9月、10月に2度ほど3日間のワークショップを実施し、優秀者を選出した後に、11月に2日間のプレゼンテーションの講義を経て、個別にメンタリングをして、1月に名古屋ピッチ、2月に東京ピッチをしました。Covid-19の影響で最後が中途半端に終わったのが残念ですが、キャンプ参加者の中から数社起業に成功した会社があったのが何よりも嬉しかったです。

今年度は、キャンプに加えて、「あいちスタートアップ創業支援事業費補助金（起業支援金）」の事務局の業務も採択を受けました。この2つの業務を遂行すること、来年度以降、愛知県、名古屋市、東海地区の企業や大学の何かしらお役に立てることは無いかを探ること、そして何よりも東海地区の起業家に寄り添うこと、以上を目的として、栄にありますビジネスセンター名古屋栄の6階に、3人定員の狭い場所ではありますが、名古屋オフィスを構えることが出来ました。名古屋は、前職時代より良く来た場所ですが、根を張るのは初めてですので、何卒よろしくお願ひします。



中西 一彦 (72回)

【新しい楽器「インスタコード」のその後】

静岡県焼津市在住の永田雄一と申します。

今年の2月、総会に初参加させていただいた際に「誰でもすぐに弾ける電子楽器」を開発していることをお話ししました。

その後製品化の準備を進め、数千万円の資金が必要になることが分かったのですが、資金調達に着手し始めた3月下旬は、コロナウイルスの対応で各種融資の窓口は相談すら出来ない状況でした。

そこでクラウドファンディングによる資金調達を実施することにしました。実際に製品を欲しい人に代金を先払いしていただき、その資金を製造に充てるという方法です。

製品代金は約3万円のところで、5,000万円分(約1,700台)の予約注文が集まらなければ製品化は断念するというプロジェクトでしたが、目標を大きく上回る7,900万円分の注文が集まり、無事に製品化が決定しました。

クラウドファンディングには、アカシアの同級生を始め、先輩・後輩からも注文や様々な形で応援していただきました。中国新聞や、広島テレビで



インスタコードとは
指1~2本の操作でギターやピアノの
ようにコード(和音)を演奏できる電子楽器

紹介されるなど、アカシアのつながりはプロジェクトの成功に大きな後押しになりました。

来年の2月は発売を目前に控えている頃ですので、楽しい話題を提供できるよう準備を進めてまいります。

永田 雄一 (84回)

【編集後記】 ~近況報告投稿のお願い~

かわら版いかがでしたでしょうか。実際作り始めると、年2回の集まりで、皆様からいろいろな近況をお伺いすることが、いかに嬉しいことだったかということに気づかされました。

この紙面ではとても伝えきれないこと(皆さまにとってもお話しされたいこと)が沢山あると思います。

そこで、皆さまから近況報告をいただき、かわら版追補版として、追加発信することを計画しています。(メール発行のみの予定です)

「お願い」

9月末をめどに、近況を東海アカシア会事務局までご送付いただけないでしょうか。

(メール、手紙いずれでも可です)

いただいた内容を、メール版にて共有させていただきます。

※まずは予算・作業の都合上、メール発信のみに限定し、東海アカシア会員のみに配信したいと思っております。

メール発信できない方には、次回総会にて配布させていただきます。

投稿お待ちしております！

2020年夏 東海アカシア会事務局